東部滿

蘇國

境心縱斷

行の御言葉を腸はり態酸して

ーレ駐屯イタリー軍前令部よりの「弾を投下し機嫌続罪」「萬趣を選帖報道によればアシャンキ別呼の演したと数せられるエチャー・「二・一般道によればアシャンキ別呼の演したと数せられるエチャー・「二・一般によって スー・・・

に設通し市中は非常な混乱を

選擧違犯既に 十七議員起訴

出有終の美を結ぶべくその後引震

公本所に開か

全権大使許世英氏は六日信

信任狀捧呈許中國大使

機會均等を要求せん

國も獨墺にならひ

かんな歓迎

〒町十時十分 | 年五ヶ月振り

失來の外へもひしめいて來る。

船に首を撤に握った。

しやつたので

花 治 畵 作

梅 型

3-4馬力 5-6馬力 7-8馬力 10-12馬力 15-17馬力

15-17馬力型

(86)

愛用者ノ聲ハ機械ノ属價ヲ語ル

米の竹の先が紫風

14-16馬力型

七花八裂

全職大使南大郎大将は颱東軍参震長から参照で明れの那顧をなした前陽東軍が合意策駐南

しく宮内省が疑しの馬県にて沿道市民の歌迎、幕院を鑑へ凱旋群軍の禮を脳はり動章も単か天兵は撃戦し九西龍中将、椛大佐、名波副官の

等内壁相、宇佐美侍從武官長等侍立の上御削

から加しほが蚯蚓のやうに砂原をなかつた。見るまに、二僧の死間

がれて、

当したと

つた。

ルセ揮

野

50-60馬力型

に振り落した。住連も、怠慢をはつと、歴史はあわてよ、刀を

一般といる間が

Ð

離響

北端橋 | ○ | 海

雅

シエッラカ馬

一些、安楽房の口から、

價資々

ルセーチー向時一番料燃 T

色に疎つてゐた。

江體制 またも危機

に製造除器景後(五月末頃)を期 ールドウイン氏が耳疾昂進の理論

型 50-- 60馬力 75- 90%1

100-120所力

28-32馬力型

御一報次第赠呈 詳細型錄及納入先名簿

+

各道に支那を設立する 天真樓に一治の後、明七日午削 大真樓に一治の後、明七日午削 大真樓に一治の後、明七日午削

大地支貨 T大地支貨 T大地支貨

蘇聯の長韶子国境衛史哨から原状

間諜躍る國境の

は、 関うする事もできなかった。 十人や百人 かい 同うする事もできなかった。 十人や百人 つて行つた。態像どほり彼女たも く、如意を組へ分け入、松虫と鈴虫の局」 芸術へに、 二人、自治して死と既の小屋のうち かりの位 壁づ じこかいます。 庭 ようとしても停





この時と、なほ野

の連続!

ところの法確吉水

は地上から一掃さ

爾は五日日比谷公衛トラックで慰 催オリンピツク男女候補選手に録

召

れた。甘味短脳マラソンで

とする際、現牧師無斥派の一人が一の牧師は貴格がない』と韓邦坦か

十哩マラソ

界新記錄 を有し錦版コンクリート四階建で

時間五十分二十二秒! 正にマラソン日本を出現す

青地(宜敬)二分二二時六 (日本新原源)一等。關限(明大)三米○人(日本新原源)(日本新原源)(日本新原源)

輕快列車を

濃緑に變ふ 今後は緑系統にする

山里金の塔(か)で府内郷が町、〇 香地先で自轉車を流んでき走中で 取調べると京陸道毎川郡常山南西 はてい逃走するので東大門署員が

あつたことを自供した

電米倉町の京城供業部構内 近く入札す |武芸(こ)が自分の観頻にモダント | 午後一時頃項に支援金として玄石

答唆と結婚して同様、

世

界

的

泉遠道始奥郡生れ妾中養("**)は昨|の現金七圓を協み逃げ出したのを、てゐたが五日退行添町三ノ三三

全くひどい女逐に捕

他主催機等政庁すずる

會員券

來る九日夜京城府母館に於て開催

部江原の風とはいめば印後

六日朝の概況 1の風 る時を削がある。 北風北の 用(の風) は優 北原 がめは非後 南(の駅東は要

五十銭券(一階正面密)一回ので御利用をおすすめする

問題祭の前班をすることしなった されるが、一个回左記の箇所に於て 八時二五分落語(東)器風亭柳

手始めに次々と甘い男をさがして

近を運行中を幸の友人に見付かり

その夜季方は結婚しては家城まで持ち逃げも、西大門署へ突き出された

すくむことになった

盗んで衝突

日本の意家を高くした一種配面(四周当下) 顱のクロスランド選手によつて作 られた世界記録一時間五十一分五 -四秒を原用に破り新興マラソン

の色味をおびたものを標準として

である。一種から近望すでその密は、らしく各単の色帯をつけることに、関から走つて来た京城破壊制に五、ドイク生れの深低大一四陸破土一、金とともに劉武がこれを見て領資と、東した非智明總許別で行方要求申 「続野、海走護局よ大領戦明し郷和分三十二秒(世界新記録) すいので源録色にぬりかへられ新 の男が同じく自戦地に乗つて向っ 切にしてみた資大・フター観・嘘を五日西大門警旋に捕へられた 「衛力財育派を制・一時 コレート色の別礼は色からこれや で自戦地に乗つて戻走中の歴代風 して去る三日でメリカ部財命の大 後の市にたつでで、投げ込んである。 取した非智明總許別で行方要求申 「続野、海走護局よ大領戦明し郷和会三十二秒(世界新記録) すいので源録色にぬりかへられ新 の男が同じく自戦地に乗つて展走中の歴代風 して去る三日でメリカ部財命の大 後の市にたつでで、投げ込んである。 取した非智明總許別で行方要求申 「続野、海走護局よ大領戦明し郷和会三十二秒(世界新記録) 一時間五十 貞「総、小南線ではたいのチョ 博三十分、京城大型局が総対人 」 即次費しをやつてあた実験を利用。乗りに応わいてリルナンギンの「ました、ると三三人が共譲の上屋」もつて決定中なりでは出力で

なつた、耐して今後重難の色は鎌一「金甲鐵」が岩正節翻翼、勝声男「百皿位の三四を縦なくにらみつけ、けしてある。 州部事務では家族は は自分の自転車を築てそのまくあして那獲、さらに四日ソランス領事。除りのやり方に源を流してくやし 館のセパード番犬をこの手で捕つがつてゐる

「協人であることを知つた師里蹇成」」を紹介、結婚話しをすくめ五日は段故に結婚の出来ののを施度に「長沙町三一越比の娘金寶塔さんで

男が後から糸を引き

つた時、何に緩いたが紫氏の馬は一氏(*)。その探検明像(デ)及び古村。中である

化門交叉階でやうやく押へられた

劉婆さんは赤十字病院に入院して

關屋敏子孃獨唱會

乗つて友人と簪の郊外散策に出か | 浦線をまつしぐらに輸出し、西大 | 一人は顔面をの他に怪我をしてゐ

門署の前で臨北町一九ノ二號劉令るが、事性は淑兵隊に移し取調べ

全般天氣豫報

北の風東豚によると印が

京城高等豫備學校

(電話者)

春

| 百年後、時銀東馬に、架少尉が | して日曜の人田で混雑してゐる瞬 ゐるが内田館で位据の狀態、他の

二人をはねてなは暴れ廻る

暴れ出し乗り手をその場に振り落一 け、阿蜆町職業學校則にさしから

時ので僅かで異常な精道振りを示

着中村(早大)二分三一砂一

一圓五十銭で西大 心泥棒花嫁

高陽郡五章面五章里玄医成在(三)。ガールがゐるから結婚せよと京城

|単元費しをやつてあた実観を利用。案では虚をむしてソルナシをシの「ました、あとで三人が実践の上版」もつて決定中なので能は置きは大||健脈明七九ノ三鞭液一成|||定はは、門町の主流原光的時形を瞠り、同一から 第の子三十間を記載、漢を脈(秋は凝り)同しろ図子機の質辨を

郷で雇はれたもので

(駐銀の昨年 十日許り副に京城府職業組代所を

五分豆城郷列山で出爬した

飛込自殺 カロケ後十時五十五分京祭線水司支調で思北永司 市水司商明中里本署度(こか自教 市水司商明中里本署度(こか自教

イキングに

御食膳に





現代一流大家洋畵展 並前田寬治遺作展

優してゐた山東方面からの貿易給 少し数日本上流の三道道頭に行

数度は六日の大潮を利 安東に入港貨物の産

、五日中には劉々到者のでゐる。上流からの

京銀 城日報 社

准、李在允、曹温浩、李俊植、 李华法、潘杰武、朴鹏谕、尹永 李华法、潘杰武、朴鹏谕、尹永 李华法、潘杰武、朴鹏谕、尹永 春陽會 推學會員及

受賞者決定

帰間を開き撤撃的武と脊陽質質受 時より五時まで美術館に於て個員 質開能中の春陽暦では五日午後三 □寫眞ヲ徐へ四月十日迄三御野送 内地人、女坐板卒業程氏、助脈非 女子 店員募集

八晋とを決定した、新郎員に推議

瑞西コロネツクス



ストツ ウオツチ 宣千個二限ッ特價提供 、プウオッチ會心製 L

米、佛領事館の犬を 航行始まる

安東電話一般修正は流水次第にてゐたもので、無明した勝貞定は、金を住前兵士に贈ることになった が一間をひきつれて料料で豪遊しひ、 び、夜は富日一番脳をしめたもの。帶の家院を訪ね不要品をわけて置 山のやらに歩めて、その處分

當局の目をかすめるため認問を建一六日から。 圧順、発明、発重自

語で調査した結果、際は昭和七 北俊(こ)は本だ捕はれないが加

あった、被害者上 心氏方には重か 36少年 財称所を出所したばかりで しく住込み別編を働き療役一年六 月に處せられ、去る。月十日金 官員は約二週間の度定で内地映画

一百圓の犬も一圓五十錢

ソルナンタンの材料にする

界を世界するために六日午後

常時年與夏仁鄉朱安、上门川間沒

也圓參拾貳金買特

也圓四拾貳金價特 京城本町一丁月 京城本町一丁月 崔 學 基 運 動 具 店 京城府中學町一二番地

細能文は代別にて御辺附可申上候

展育川町(公會堂南上) 京城YMCA學校





語事物量見雪を影響中であったが、六日午前九時から同局設なって法つて地ぐ交後壁の権力に京城中央電話局では食て軍

一圓、一圓五十錢、

員券

京城府民館大講堂 四月九日午後七時半

宮

富

お嫁さんになった人々の あとに入る娘さんたち

弊社長立憲民政黨長岭 **『縣支部長牧山代議士には民政派某公**

は不取敢紙上を以て御禮申述度如斯御座候 事解決四日長崎驛發列車にて東上仕候間御休神賜はり度先 筋の喚問を受け候節は辱知諸彦より御懇篤なる御見舞を忝 ふし御芳情感激の至りに不堪候然るに取調べの結果事件無 認候補者に關聯せる選擧違反事件に付長崎縣において、其 敬 白

聞 社

朝

始めとした一味八名からなる細土 達してある、尚非亡者四名につい 階限事館は身標的東中の四名の被 ては極力行力を現實中 九分會活躍 國防婦人會第

「疑者につき谷自州事形長が引取さ

取職べを続けてあるが、彼等は昨

年暮から一回干園を単位として東

京城本町署で追求中の諸貞奏者を

一月以降三月末日まで十三萬圓に

漢城商業學校

逃走の四人を追求中

勝夏高は一萬国家下らす、しかも「鰻房学人賣京域分頭第九分買では四種町の劉征典宅で行ひ、一日の「「フォノイ・テーロル 何、方湾成、柳溪州、朴孝允、栾 李俊山,全太水、全基、李 劉永伯,田元玺、金嘉培、李 海 Ľ 今年の入學 ス

基、羅安聲動、

١

泥棒

少な馬め釋放され、次いで昭和九 ずにも住込物鑑で問題で協議、年 雅山のピストル防盗谷疑者 U は最早時間の問題とみられてゐる つめ

個では分島資長以下場

マヨネーズ

クロム側無地十七型

京城運動具商會學家城府本町一丁目

會

線路に飛込む
正月年後

の作金一丁五百國を期鲊信託から二百廿五日家出したが、六日實見六〇李遠雨氏實第李昌朝君は去る六○李遠雨氏實第李昌朝君は去る

講師 | 機威者|| ヘ順

募集 中等 高 里 校 受

濱松の精鋭重輕爆機二十機

平壌で壯烈な演習

阿瀬陀師」の名號が軸一本が記

立した程一概・計寸機の総関軍は十三日機略 【馬山】愈上釜山津河組の手で岩重線河騒 プラミ東登刊・18 プラミ東戦 プ 九三王重像十二楼、九三王将縣八

世際職職・一路年齢を継ばして統一工することになった。所能含蓄渠、十四日より関策の概要地字庫、地筑象は四日午即十一時から工事を建覇として野外前法機震演響を「改進で字数」になった。所能含蓄渠、関明する路

馬山府廳地鎮祭

れたに来ぬ多数臨席の上殿離に動行さ

大郎」音鳴に乗つて建らな犯罪 汲血漢二人 雇女を搾取

顕急死したので水上圏では遠川公 亡による後世の人選は価組能部割 ために倭叩きにされ五日午即三時(【統督】消防副組派神野一男氏死 【釜山】牧の島源伽町山本和吉万

の機も今年は長期に真る熊紫殿し、ろ瀬湖は本月杉龍になるだらう。三日館には金鮮に魅けて開く馬山、と魚里しの渡である、目下のと「馬山」 例年なら三月彩か四月二 からは膝掌さへある天熊異蛇に

天候異變に狂ひ

開花期は月末頃

けあっき上に二日は急に領選下陸し午後、みられてゐる前配して移す。4十十月一十十

岩頭野人四十二名のうち馬山小駅 した合格者百十名中内地人六十七 F等型技権尾の試験であったので

五日午後二時半合格者を翻改

きりと浮びあがつてゐる、そによっ

季雨の洗禮で明粧の港

平野田喜代盛(新梁)▲京區上中本學號(淮浦智)▲全水遊市間(北端小) ▲淮湖小中本學號(淮浦智) ▲平縣光浦中本學號(北浦智)

個昌長牛島熊記氏は去月卅一日 鎭海と金海 邑長入れ替へ

法然上人の眞筆と共に

龍岩浦吉田家に傳はる

を切喩して預制窓より一名の笹辺。 常振編を切られて家の中が真暗総配高売養太郎氏(きご方の塩)窓線 配6 郷の 昼食者太郎氏は繁時の複線につき、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般 【褒清章】・五日午前一時廿分郎、 縮の複面をしてあつた 兇器翳し金品强奪

間西民として未曾有の大水害を間西田民として未曾有の大水害を配けて、一次のなったののにして、一次のなったのは、大小部子起音が、大小部子起音が、大小部子を開西の大水害を開西の大水害を開西の大水害を開西の大水害を 即氏を脅迫、現金六圓、金側弱なまで日本刀標の兇器を提して善太

海軍協會慶

準地方法院機事局へ身機を送録さ 清津署で取調べ中のところ四日前

興五(たは阿片密慶の歴でかわて 【清津】京園線列車金草ボーイ味

【平壤】四日午後九時頃府內將即 酸泉郡市體泉面土正里施行臨金元| 豫定である、その日程左の如し

|一天、金数高旅館に投稿中の隠北||より駆団暴り下道館部は器出動。||(平壌||五日平町二時頃)府内港町||その遺林計畫を響配するためじ

命のかけ替

條件 闘衆は黒一色とし「五寸三分×一

尺一以上にして此の割合を保つ事

新聞廣告用の圖案なる事

突き出されるのを恐れて

服装は黒台語様注版を着も黒木「里一一五金生焼」で「か)が買物のためで非常に臓器の流暢な朝鮮人・【「耳基」 四日午後万里は孫戸景州

來月早々認可申請 ~本格的測量を開始

(衆質局と抵衝し先づ総道整総裁可 扱強されること決しそれ / 主政に見宝密長山口 離間が上域して 馴一 部長の後程には 表常時一小頭が で駆第一部長側語)氏に、狭定第一てゐたが去る二日午前七時半自宅 に攬ぎ込み膨条手営を施した結果 ・ というであれる。 ・ はいであれる。 ・ はいである。 ・ はれである。 ・ はいである。 ・ はいでる。 ・ はいである。 ・ はいでる。 ・ はいでる。

物鮮大館を開催することになった 門諸師中山以雄氏を片鴨し第三回 では來る十九日小學校講堂で聯合

【馬山】 修從關關而及處和兩支那

が展見直ちに急停車したが間に合機域せんとする朝鮮人男を機器と はず、刎ね飛ばされて即死した、 際肌の上部宅の途中この奇禍に係

送先

東京市京橋區銀座五ノー

日米商店宣傳部

締切

昭和拾壹年五月卅一日

新聞名、住所氏名を明記の事 應募圖案の裏面に本廣告を見たる し、但し未發表、創作たる事

人何枚應募さる」も差支へな

縱、橫位置隨意、

く見を喰つて満走、駅入等は静物)りょくとすると、ことでは第一級との出来出したが扱い。 「美山 歌劇する路域のためをの」山野へ殿峨したが扱い。「美山 歌劇する路域のためをの」山野へ殿峨したが現山は九二を繋がた。 「美山 歌劇する路域のためをの」山野へ殿峨に歩います。「美山 歌劇する路域のためをの」山野へ殿峨に歩います。 在所では削科者の仕業と記み犯人 てゐるのを観見開出たので達西駐 [大邱] 府外院並渦永連精米所食

出帆の間際を襲ひ

教留所入所式 [春]]

發表

昭和十一年六月末人賞者氏名を日

刊新聞紙上に發表

審査

株式會社日米商店宣傳部

咸北辭 〒(四日町)

注意 一、應募作品の版權は株式會融資本南語に屬

釜山署で取り押ふ

製名で暴行

出する運びとなり準備に慰殺され

副組頭决定

つたがこの概認可されたので直も

開陽線価略沿線を測量のため値

黃海道綠化運動

証す

哀れ失職者

房第二萬率和教でしば失極したの 緑化配動を超すことになつたが 「奉天」京湾道生れ拳天城内十間 ケ間灘原道域地数を眺いし空証的 を極度に影響、精神に異狀を来し

【釜山】大昭第八十職隊では七、 鐵道警備演習

二等

五 漬 Ħ

等

壹

賞

金

一、施泰作品で富祉に於て使用する場合は適 一、本件に闘する御問合は一切郷職り 一、職塞作品は返却せず、

冥藝正する事あるべし

拾 拾 百

佳

作

拾 Name of Street ----

名 名 名 名

老人の轢死

火関するに連送業者と受荷主間の「と今回當局に陳樹した」 単代の内容は厳秘に附してゐるが「を行ふより面に腕下げて護いた

せられるものと見られてゐる 國有林拂下

課題
富士自轉車の優秀性(堅牢、極快、

優美)等を最も強く表現したる

富士自轉車の文字、登錄商標、

又は自轉車の圖型を必ず挿入の事

葛真應用も可

圖案募集規定 新聞废告用

發寶元 株式會社 日米商店

編 简·原 版·音 孔 東京本大 級《名內羅 東京。銀幹

歴製 等いろ/〜あるが、 絹製は | ◆飼地これもいろいろあるが。

◆手鬘は綿製、人綿製、木綿製人れて潔点と寛虫を防いで嘘か

にはめたまく感謝してアイロン比「駅を振つてから肺器」で気き返っ」(グラムの波中でより洗ひをしきとり、全種師の語れは手袋を手「ビロードなどは楽かい劇まで鯉」 水内・五歳を却・土壌高にはして、水口・塩酸・コ マテル・エー・ファー・コード はいり は 同事を貯蔵 当では 消費の色質は解認 単で破壊液液と かたり 本語・コートの表しました。

一つてから水一立につきアンモニア なら鰹吹を掘つてからベングンで

は汚れの部分を加黎地で属き去40に注。して除いする。自色のもの一円れた観音表中、だできせて勝里

文房具奇談 はじめてにく ◆毛婆のものは十分に難事を眺 ◆毛皮製の飼圧は、有色のもの

連作ドンドノの

75

(虚の巻)配 吉本三平

時は成りはづして洗濯を行い、銀一个飾りリボンは汚れの著るしい

へたまる場件しで仕上げたい 出来るなら報體に入れて慰

削り皮は確認。世で汚れを拭き、オ

ものは好みの色に色揚する

材で十分になめず

りたのした境地です。と云字解谷さん、膨胀感では相密知られてある、「今は作るよ ベンネームで総谷精子さんといっぱ男鮮の

ーヴ油又はクリームを軽く指定

んでおく。そして容器に

ひ除き、その上から自クリーム (化粧用で可)を少しすりこん。 にはめたま、汚れを推修連言で、 さっ、英海後テレビン地が単版した。 さ、英海後テレビン地が単版した。

ヴエール、リリアン等は重要加売をする、編物類は影問所じかよく

流にする

カラリと噛むると共に至の帽子、手袋、関性などは一斉に には、勿論手入れが入切なのでこれについては密亭を ―― やりお照頂載となります。これを次の公まで保いしておく

◆圣の帽子は、生として毛製で一けて仕上げする

エルトが多いが、これは光つ龍

◆毛手袋は出来るだけで式流流

らない歌で困ります、好きは大好き競好き當になりませうが自分丈けにしか解 歌をはじめて逐年になる?「もう相 はく息の白く溶けゆく はく息の白く溶けゆく

搬ひを行ひ、インジンで汚を拭き、全行ふことが歴史である。でない

と痛むおそれがある更に自皮のも

のは、手にはめたまま汚れを単純 曲で試き洗いを行い乾燥後ギブス ひ除き、そのとかうコープになめされたらよく初を佛

招

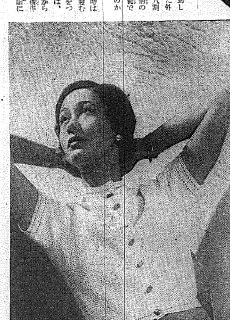
暇の出るもの

冬帽子や肩かけなざ 來多までの藏ひ方

ラリ晴れたら

脱密は、難しければ難しいだけ、契例へ関い密郷では、その方の表演美によるとも云へる趣で、表情の 幽婚人がありました、まことに婦人の美しさの八割 こそれは武器された笑顔を作る事だこといはれた外 その方の表情一つでどんなに見よくなるものか 朝 鮮婦人はどこを改善すべきかの間に耐し

心に唱たくのある人、聲響虚の方などは、例へ響作 何か業しい難しいことを考べ、必ず実顔をして寢む▼… 昔 から、美人になりたければ、夜寢る時は ての人の容貌の型を殆ど支配してみます。ですから くる、と云はれてゐますが、平常の表前の鄙態は、 こと ——。それが智勇は、明々と明るい真の愚をつ 如何に整つてゐませうとも、決して見る人の脈に しさを感じさせはしません



する方がありますが、あれば、若いらちでも、その表別によって観な美ひ方や、鼻に皺を音せたり、むやみに鯉に数を音せて美つたり 網は非洲に大切です 一大きな概をこしらへたり鼻の上に小数が出来たりする因ですから ことく自分に似合ふ妥而を配置するのが一番にろしく、よく大郎

の美額の砒霜も難かしいものです。常に鍵に向つて、自分の美し …し、かし、笑顔を失題にすればよろしいとは云へないのです。

スマートな………

紳士になる

今年の流行物

地 多 行 一時出机 一號 多 行 一時出机 一號 多 允 每日午後十一時出机 可是变碳,是每行 以 多 允 每日午後十一時出机

釜山出門

九州郵船株式會社

前職へ左記へ勘照會被下更完 金山東一進曆

心のなごやかさが、顔に出てゐてこそ、最も美しい魅力のある時な





年は帰しいですね、ところで、け になる方々ー

ふはみなさんの 機したと低へられて見ます しませう る人(便利な學用品の小話をお話) お別の上にあるい

といふ命が秀音の命をうけて限に よると文献年中、毛利斯兵高量能 て之を占田七兵省といる諸に際

六盤、何れもソロバンと惹んで馬 経さどを受害し、秀吉の死後時朝 つたといふ説もあり、また相当に ますが、日本では足利時代に際居 に用ひられた事が関かになっては られて居ます。支上では定の時代 ますが、密通には算器の字が用い (A) 「京縣、丁三縣、町 りませんか

一な一些面が展明しましたそれはか 要はれ、無愛にも身に数ヶ所の傷 如節り込んだ四十四名の叛災者に 証の減長として議事の進行中、突 の英雄シーザーがローマで元老官 年二月一五日に西洋史上最もお肚 た。此時シーザーは偶々掛つてる を買うて議事金上の器と消えまし 本の述べンをかざして群がる **西斯紀元前四十四** Ž

讀志欄

るす、何れの人であるか! たいが、西の久保を添ねたら知れ 『ウム、ちょつと訪れて禮を印し

それで綺麗でございます。 日永では掃き清めてくれますから 『西の久保の歴矢衛と云ふんでご 一それは1人好い心懸けのおであ

C 整地の掃除をすると申して、毎

でいさいますの 那がお出でなすつた……へエ此人 の弱を日々な掃除下さるとのこ した内鼓助が、

『ソレ、お前が行かねえかり 『民令富山にて 康 つたが、主人 これを聞くと彼の職まで手を下 撤兵衛さんと申し

んさ子みす州辰 は身に密みて聞く は身に密みて聞く は身に密みて聞く 場では記憶お盛んで歌僧を確される陰で

> 1のついたカフスボタンのいらた 好かれてんます、若向きではカラ 色とよく調和がとれてゐなくては

> > 雑此の頃は著しき衰弱を認めまり提筋を訴ふ月継は不淵頼る困

を帯ふ、其他右乳房部指揮によには腹痛を感す、隔部径を赤色には疼痛を感す、隔部径を赤色

もの。レーロッと組とでよっな

スポー 吊引 スポン品り レープ・ボ・シックがよろしい

すると何ヶ所にも背の齲瘍が出来して皺となる病室らしいです時と

珍らしいもので身體の方々の情の

潮戸病院長

一部分が生理的制限を越して増強

いけません、生地は一ゼファーが

フリューが食器ですが、!

に骨隆起を来たし直立即止何畝 に骨隆起を来たし直立即は 1 第二無骨に同僚 日期足育第一、第二無骨に同僚

が、これらはかうした機能に思まれず自 Eff classのじゃないかと思います。まけてしまふのじゃないかと思います 投水先生やその他の大家のお歌を 二子の母としての今は信がし 継志も養ますにゐます く暮らしてあますので観歌 (次女の生るく則)

/31

て平な所にひくけて乾々す。 www とし、 な確定ののも情態後の中を通しとよいが、汚れの超たしいものは 組んだものなどは下につるすと 毛環膜門の深環球に依頼するのが 組んだものなどは下につるすと 毛環膜門の深環球に依頼するのが し、他でる訳れがある 一般性でもう 所を除いたものとして、背中にあ たるところが丘め食になってるて

初めて學校にあがる方々、上級年 - 何にしても、新模 | 利なインキは盛んに転ばれるやか | 明治七年三月宮廳では絶到にイン キの使用を禁じた事もあります。 になりましたが、どういふわけら| 今日から考へると面白い話ではあ たとの事ですが、その時の順科製一理由は生来薄いものなら遺傳によ 切り時にエチプトに健康されてあ

す、明治維護後は野県に比べて便 ラシにて歴史する総な事交は働 内護助に何心なく二代のに関いったのは関影き来と同時で 適常に既ふる事、例へ民塾を謝ラ 蔵助の縁りを得つてゐる 法などは全然わかりません。日本るものでせう、原法、侵域的刺戦を一ない。大きな石塔の際に添んで内 (日曜)午後一時より於三越社交 ○ 棚王極四片側會 四月十二日 事等、数はまだ若いのだから有効 例へば極々の毛生医等を強布する一唇る後衛に到び、 の心學能劇觀を適當に懸ふる事、一響前に飾づき競技を終ると、修に 摩察だより こざいません。心類があつて他人

【答】 瀬戸病院長 みにて助命になった身の上である。 敷有が に頭の温雪にてお手剤とは表面の。なさい と見ると思りも寄らぬ大石の姿が 一就きましては日が際に印上げま く樹像が弱いてゐて、琴ない。 と言ふと表男が、 内蔵助は傾心なく三代の主君の

から家老などに頭倒する事に出来して振角ではあるが、今日は帰つ

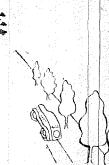
「イヤ大きに副言答でござる、能 『オー北所に居られるか、これは 幸いちよつとそれへ参って創面側 と言っておくんなさい が、内蔵助早くも聞き附けて それは父何敬子

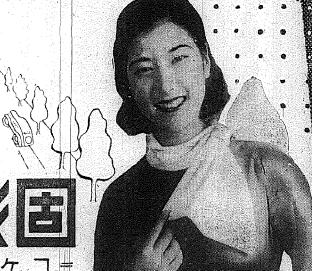


高杉商店回漕部

〇 当界 いつ

やうに生々と小鳥の 意氣 化





が遊ばれる筈のものとして、ミター理能です、断形は成の高値のため「居るやうに温離してみる話もありりました。しかし一方明らいもの「になつてきました、これが歴史の「境代家をと申すと始終週元にのみ

新された。 ますが然うではない。 観べば内臓 さいますい

部に於いて城代を竣し、内原頭が

たい、居るなれば呼んでもらいた

に川府本町四丁目 (結氷期間体軸) に川府本町四丁目

無清運株式會社 無清運株式會社

「それは幸ひ、面前して禮を述べ

域代家をと申すと始終國元にのみして、彼分でなければ殴りません、

今し方此所に居りましたやうで、 概形日この弊地へ参つて居りまし

新靠州上安東出航

前席にお話を楽しかけた通り、

墓掃除と墓参り

「イエ、宅には居りますまい、大

東訪 鬼 月 日日

一彌畫

仁川出城

不破數學門。悟道軒圓玉演

假です、今年は靴のかざりが複雑

よつて濃い郷と茶がこの中心とな

帽子 色は昨秋暗色の影響に のキレイなといふことが最大の健

靴 本窓の搬士といる人は靴

「年の春の御士服施品の流行色を」ものが出現しました。

Manual ワイシャッはブルー

帽子はネズミに茶

近年はスポーツの影響によつて服

好かれるでせら

クスド・カラー(指陸り)が相當一自然島慣になつてゐます

態、儱のがつちりした人にはホン 中年 削き はオフ・ザ・ソエース 値で、若い人向きにはスナツン態 が強く、二时六分ノーか四分ノ てゆくやうです。融もそのため鎖 やうに、様子もスポーティになつ ファッションといふ言葉さへある 施品のすべてにわたつてスポーク

に髪化なく亦化鼷政疹の微なし、 恰も骨の隆忠せる如く皮色して膝頭右脛骨骨頭部硬く隆起

らざりしも十年面何等原因なくは經身なるも生来頑健素思を知問。二十一歳の處女にして體格

府になり、入れ代つて大石が赤郎

きな石碑の際に避れて居るを見つ

威海衛、芒架、大連行

回波言言作品如

さて、内匠頭が三月赤部から出したいと思ひ、敷石衛門を探すと大

なりとも大石から寝を貰つてやり

芸男は殷切指とて歴史版に何程

階るに就いて個股(SDとして)

なざるのは淡野森の迦家若大石猿

「オイ歴矢衛さん、復所にお在で

鐵南浦、大連、天津行 城海衛。芝罘、大連行 東原東門計二甲藤野龍 大連、天連行

ふ刃第ではない。 國に居らなる時は江戸へ出施して 頭が在桁即も江戸に在る時には赤

骨の奇

フルがといふのが全年の流行です

ワイシャツ

阪ノ・京東 鑓本ルーメ高風社會武器 元曹新總本日

打 粧

仁川海岸町

代型 野口商

区尼崎汽船出帆

如く香はしく春風の

今!流行の 近代化粧

国形タンゴドーランは 線具海線化準の 自務の加き無駄なく粉が散亂し 手棚に美しい男朋化地の田楽ら 手棚に美しい男朋と地なく歪磁 手棚に美しい男朋化地の田楽ら でも、男別ではつい男朋と地なく歪磁

やうに麗しい

Ø,

心ゆくまで帰はひたいと思います

がありましたが、郷土を以て低す どんなものでもよいと考べる向き はあまり目立たないといふので、 る方は、どうしてどうしておろそ なにすべきでありません。色はグ ン、受はブリューが若向きで

り間がこったりするので、その類 て朝的な語じがすることがあった。りが行れば皆可能するのも六ケ敷 のY字壁のものは前の大小によっ。分ならり除する事もよいですが確 て年から続ったものとしては能来。前なり大きくなる事あります小歌 られません なります詳細は見なければ申上げ 松。雷點

節が出来、無理がたくスマートな りますが生むつき点毛がうすい師の副さの角度によつて自由に調「間」 私は今年、土穀の男さる 眉毛がうすい 門が智備除をして居たが、ヒヨイ

見えたから吃想して身を認した。 に動うてお棚を甲したいと仰して

敷右臨門は困つた顔をして

すが、このお撮像は私ばかりでは一般に近前いて来る、芸男は饅頭で と能式での人石のことと

域さら

誠に副奇様に位する、手則に赤闇

COLORERA

すなりあた病品雑生物関係・間楽・店貨資名署

付フバ用粧化級高受

明新爽早淡白肌-七 朝鮮健聰紅 色色色色色色色

野美しくなる。



對局者の言葉

な戯だりたが経二三年来急

合せの畑の眞ん中にある

野と書へば板橋の月を思い出



加茂製作陣

映畵檢閱日報(三日)

開祭計(黒 二・四九分 所要時(白 四・五九分 (制限時間各八時間) 山▲マキノ・丹下左勝克宝心殺の松竹・街の流れ鳥▲間・奴かがみ

日本棋院春季

中抑勝先

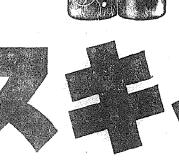
御舎合の席上に御舎様の投育に

かと、歯の弱い人は短命

モラッタ 71



迎まし 獨糖等 れた合 **榮養飲料です** 能を飯活にし 有成分が、胃 ユーム及び葡 する萬人向き たる元氣健康 い骨格をつく タミン、乳酸 築養價の優







きいたのさ

御機嫌、

晴れ。けさの

と ー ロー は 京城府 図 京城 府 居 アー 湯澤 商店 店 場 澤 商店

九二七南電・三七*九*阪線は

本家せぶひゃ 伊藤 長兵衛

テナ印文房具

演藝案の

天道 で多木豆、脂肪原子、 で多木豆、脂肪原子、 で多木豆、脂肪原子、 の の 原次

怪盗白頭巾側端同時

阪 髙 津 表 門 筋

凄い強打の列

6時はまづ完璧の元質師とし 行動派、立教

看學映画劇場

スは 適度の

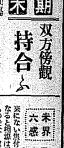
程よい酸味と

の嗜好にも適 て老、 電、幼 美しき乳白色

共贩會社

北鲜大阪行 横角奔港 期上 **维基学日 清津兰日 元山三日** 清 津 火

ルトル・サニ 聯 花 デスムで 義立の立つ、御道公 ・日本日本語・日本語意則版 生かすか! 生かすか!



つた▲斯5 「と云ふ近」 「大人間八十」 「大人間八十」

東京東新區三方第三七十二大與社林米相場極意全無代



日より實施する旨

が氏の來朝を機に

大體一厘引き下げか

横瀬鮮銀理事は語る

努力を希望

池田警務局長訓示

が▲特に循巧な 製英語形によつ を翻訳する仕組 を翻訳する仕組

取らぬ極の世界出土を

その計算領薬権 家具金物 建築金物 ターキ印製品砂質元 **食量加藤**高 代表駐員 小笠原则二卷七二 55号则二卷七二 Ī.J

水防お

雜貨卸 据替大阪八〇八二六沓 大阪市南久智寺町二丁目

小間物

企名 馬場物商店 地區縣為200厘

野、月末又は氷月と別席のため七日

先 五九、二〇 人組後編引 先 七五四

相到三八個五 三十國三▲東拓三 三十國三▲日本 三十國三▲日本 三十國三▲日本

が以上を受け ハーキッカー 製造卸 詳細カタログ量 哲菜者の駅ル む古を封入の本日全高連載 目了四重版作用版南山灰大

新 二 二 五 走 電

所造製叭喇井中

お話が異四つ河の海

竹石町体育少年時、初て

軍隊ラッパ

九〇式三重俗ラッパ

の市が大

(門事入印)

各本綿

【東京市話】今井田政務部がは

は田の途につく

今井田總監

共側印入染物一式 旗幕、幟、

大曜會幹事
意見を交換
意見を交換
意見を変換
の意味は層単な声響。細川
の意味は層単な声響。細川
の意味は層単な声響。細川
の意味は見ませより

發表

服業作力萬

量ダロメカ及本見地生 近期田随前政人 **會商平太**聖集

大阪優良品商店

査世院を辿める

大阪市北久太郎町心質極節 カタログ星 植田仁本店

の眠りを確した

が順の管功主要 とが順の管功主要 とは英國の宏麗山 とは英國の宏麗山 | をベランカ航空 といふ日く付き 便用されるとい り遂にピアリイ イ君の皆て愛

扇中、※印 「おップクブー機手」 **煖房、給水用品**

グルンプスク技術 大阪市西區本田三安藤高曾安藤高曾

記念植樹日の記念



芜圖 〃 食額

質踐者は優良小作農

興の業

豆圖書雜

開子を配止めくどい思。働く美人局。話・戸山紀一 には、大学の大学といった。 は婚詐欺にかいった美しい未亡人。話・川島湾子 持合へ飛びこんだ變った駈落者の話・三澤秋子 で表する強盗に操を汚された人妻の話・田中花江 には、大学のは、一旦澤秋子

| 大なるもの

去る四月二日全難抗衝記念に宇垣總督は「植樹白年記」と排臺記念推樹の大編を示した

競馬の治蔵

▲ 端龍温泉藝者 伊馬 鵜平 ▲ 端離身代り討たれ・水守龜之助 へは悪りに 千一夜・國技史郎

信息 作三。

關貝提供養

構満正史 身元調《

いまやそのグロテスクな屋の手切り、地東白蠟三郎の出郷」

節道

100現代小說 十莊村木 う^まナー 人院随意 (層層) 院主 島貞 **電話本局三七八番** 病 信院





ベン失のおり具合 インキの清 遊程 よき 握 り 群然たる闘和味を ¥ 2.00 ÷

地方法院

中島外別

優例

公告

・果なき廻廓調

沒**必是小僧快盗 录**養養

|調より九萬四千減 大業者だけは五千人も増加 大邱府内主减少

七萬六十七月二十二日二十四人 四萬四十二百二十八人、末砂九年 日される。 女性関係を終する際 一萬四十七百七十五人、下次 明 大は 西瀬田市二百二十八人、 下次 日される。 女性関係を終する際 及自由表七萬六十八日六十四人、 の 財の 一千九百四十二人復は注

雷ふくらむ古桃

大郎 だより……

盛宴を設つた(葛頂はその地震

期山の春祭「新山所

東海内で医療性医師の見不市 (統)て手出云地としては原義もあり中の延嗣市の発達性医師を歴 東」で組織的に設定した底であり

開催し、朝鮮趣味と劉翰の奥彩り、先年出張所設高とともに、

ので明さ十一年度象第一王三百) 世地在の出端郎 ロ小規模であるの日年後八時から分離単純原で後載 することになつてあるが、分配で 一面を観視した、同分館では清州 新築場所を選定中

整配の御選座に伴い従来、神祗境 | 壬三百回を良じて適常な場所を選 の大日不

固城公普校

松崎財務課長榮轉

勤續先生表彰

つと質現 作成的 全切能 智以 州除名田居條門 觀世流謠曲

悪寒 陰ଇの『花まつり』は 五日(脱し内部三子の見遊が中心となつ

稚兄達に曳かれた

中に乗ることでいう

廣島佐賀兩工場合併移轉

不耐もお引つ

のラミ

象の大行列

港の春を謳ひつゝ街を練る

酸な臥牛山麓に選座することに 漢州 | 邑民の守護神清州神社は

豪華な釜山の花祭

能し、一千五百名の子供が先づ進

野者、奏祭の称に奉讃式典を断内の大辿りを練つて、智園

TIM 使就

午前十時から公司堂で子供大管を一て佛教徒も参加し快時に選まれた

名参列して破かた地域祭「街下増は炭監及び佐賀の下場を総「鍋人とともに樹木、鴎花・紀外谷公職者、氏子代表「場の新談に君手することになつた」【永登庫】永資浦縣便協議

永登浦町の

敗め逍遥を質施した。一回配達を関、忠、夕三回配達に

體協の組織も決 運動場買收も解決

電話には最も泣かされた

学リビス及び一般再換取扱い 柳川常長、川貞常長、各學校長龍」小出戦事、今果飯事、山日呂長、聖新の巻巻にすべく会局はより 日鉄蘇睺で小出戦事、今果飯事、 美郎祖の各氏を選供、鶴備楽域に小出戦事、今果飯事、 美郎祖の各氏を選供、鶴備楽域に別将訓練、観賞取締万任等を 鬼談響励趣について一日午後三時 | 鉄に古崎、森山、平本、藤蓮等、の指郷訓練、観賞取締万任等を 鬼談響励趣について一日午後三時 | 鉄に古崎、森山、平本、藤蓮等、の指郷訓練、配賞取締万任等を 鬼談響励趣について一日午後三時 | 辻に古崎、森山、平本、藤蓮等、

晋州の人口

一千八百增加

へ、五四型三九人 ・、七〇一型三〇九 ・ 七〇二 ・ 七〇 ・ 七〇二 ・ 七〇二 ・ 七〇二 七〇二 ・ 七〇二 七〇二

が昨年十二月末町任の人口第三百年を人口著しく渡遠を示してある

九人で劇学度より二十八一

本社カップ爭奪戦

どめてわた

引き留めに躍起

が馬山小學校五十名、曹通學校二一日は人學式、可愛いゝ兒童の群

節してその場に健心んだが、起き

とが順明した と支援はない般り とする際で攻闘へ とするのないで攻闘へ

發展

ヒッをそめてるた

塊」なんです。

『色の生のましの

日は大學式、可愛、、凡麗の財 して飲み飲け窓四日午前五時館患の手とつないで、學校、「四日」。で附人は題に 道を探えして能馬山の入學式 [馬山]。で作人は題に 道を探えして能

つけた顔を顕微鏡でみるこ

一般---粉白粉

せう。そして此の

分子から荒いで

中の黒點が、即ち

た如く接ひその實施行者に返して

更に財布に入れて改良して十個

公職の関目で大 た及び金四水

一个の金がなくなったと騒ぎ

思い切って擴充

街の危險物は一地域に集中 その他二案件評定

甲井ギャレージで野は三、四、五

大選展

がヒマをそめてわまだあるとの思語さすが、分子は

たのです。

鹿日を狭んで二日間の株日のこの製友館後長の下に開催したが

盛大な供養祭執行

からこんなに違ふ

そして「きめ」

ん。は一つもありませ とフをそめる性態

所長決定

主事 優邦 中 する原理に民間

日附で智敬した政が自由に見意の測が身的に見意の測が見れたが都合

▲三村鉱一氏(元永登油度務署長) 日本紅統瑩支局來訪轉任按逻 日本紅統營支局來訪轉任按逻 が芸に茶煙向上 型 包 に榮穂本能水登

火を執行 大理教育布教所で



総郡に質励すべく準備中である、 総城、吉州、茂山、館駅、領域の

に基さ各地方からの要望が追に印 ることは脱穀したが、この趣可

しての開風椒菊鰹が龍雲されてる「牧極に多大の緊鬱を懸へてゐる質」によつて蔵北の海峡地方脈地に一口種南」戯北道今年度高地具領と「縦鱗の塵寒、膵管を著しく距散し」縋和が出来るといふことは、これ

脱から、難地における還常の既止し期を難するものである

司法室で泣き崩れてあた。

を献け来つたものでかつては警討を整知に関らんとして造々罪の厳 生酒に難した場句書かにコカイン方面に出かけ、今では鞭を失つて

は去る一日前

れてゐるが、防風脈散として特に

カラマサ、ポプラ、ニレ祭が選ば これら防風杯の樹脂はアカマツ、

物凄い今年の景氣

集荷も激増を豫想

月間城高隆町甲公良に六回で喪却

先生の背景跡を踏み出し、去る一 即沙希里の名家黄氏等の先祖黄村

像畵を盗む 黄先生の肖

島OO隊に到着した情報によれば 北人民革命軍第二軍長衛第一

回答は傾重を要するので近く臨時 重大の關係を有し哲理局に對する 競技総質を開き更に開設を選げる

坪七十圓を唱へ住民追出し

注文津港で大騒ぎ

は清津海将来の態度にも

地吉局近郊町から在延吉間島地

討伐軍から所職をうけて四散状態

大急ぎて會寧川に取水井

間ず、箸長らにく湾域方を返請し つて委員所を組織、對策を練り、

【舞南】成北道の戸倉御園は来る一

結果

具動は岩村組の好意で無候提與さ

なほ右腕説の動力強以外の機能器

が援助することになり邑は際にそ「有の驚撃と寡誓のためや謎を受慮」ある。 おは能力値を潜行組むよび有本組 「液山」昨秋掃紙」た姿作は未曾 | 間は許可の目から証ム牛とたって

麥作は大丈夫

増加する見込みなので倉屋の増築
→ 第単原四月七十名に連し漁棚に入ると共に一層
にでも韓度すると

海岸農耕地の大敵

果して約一ポンドのコカインを語

と持つてあることが割り引題きな

那事が同女を引致取調べたところ

が今年は例年と述つて希望者は誰 「東山」 世州縣では左記日別で智

坡州の種痘

機動に不暇を抱いた警戒中の春日

響で改調べてゐるが同女は健康部

を非命してゐたが退職後ハルピン

大は欧年前まで園境方面に高さ

一般名

大きな置土産

ハルビンに榮轉の

吉村間島警務廳長

昔の感染じ得ない過去三年をを想ひ出せば由川草本悉

濃霧を防ぐ

咸北の防風林施設に基き

鏡城梧村面の試み

岩市長市氏等が集まつて脳融した | の維持費と人夫質望等を支出する

ことくして午後等時生飲館

株式質量では三十一日的

貧のなに、罪

ンから

子供を背に泣きくづれる

ル國境警察官の妻

漸く数はれる邑民

なからざのにつき解水斑より結。あるが一味の低階速を傾目とする「食頭、石造道廠、吉利整部徴長、大からざのにつき解水斑より結。あるが一味の低階速を促して、一般、水道副音を観を切め削出面上す。と続きな難され草の相響的 に続け一千名の武裝師を使し、整訳、水道副章を観を切め削出面上でを開催しては革命収五十名ま、別の金融(離びとよられら園域域を突 日午 即十一時 中から 高事が所で 超解に関しては革命収五十名ま、別の金融(離びととなって (金曜) 水道副章を観を切め削出面上。「本語は一本作来の、「金融、大道副章を観を切り削出を開いる。」

(漢書) 雍王卿と傳際迎奉との賭 されてゐたが昨今とうやら程等を の如く去る11十六日公願官で開催」である 説所で取締め吉珈島へ提出する約ありその総合領主の常見は商工館 仮に於ける原頭作業直登の可否に 地局長、清津港南部委任証券實施 うき荷主側の意見を鎖するところ れたが同僚権上指標化幹級道官 **伽鐵委任後**の 清津の埠頭作業 直營の可否につき 荷主側愼重に協議

東邊道の各匪賊團

新學期から實施

意風に出たものである

角帽の普校生

共同戦線を張

進首會議を開き固く結束

警戒を要する今後の動靜

明太肝油の

来一般荷主の意見収鑑め中のとこ根となつてゐた、師館声所では趨 問題。所では国

帝門金お返し 間覧 の記念問題方を踏り雨

の党がひ敷量は低温の如く生産半(村上、上床の揺氐を交渉登録に帰風への容別副的を受けてゐたが昨年度(定、中村、金南副館長脳に緩風へ 八干罐と泥漑したので一千三百圓でかけて、これが緩和方の除情度酸のため七萬九干罐の見込が五萬げ、呂蘭藤珠、町鑑代職合館に呼 たり道水産営局を狼狽させてゐる に近い許別金送州を要する結果と

一雄六回の。で接近事業は五千國

取した好調像思を報告した後河野 秋假營業開始等、京城方面から整一あつた

茂山學校評議會

羅津満鐵の

「咸奥」明太肝山織省の貴施に對「刺煙長及影形度に一代方を決定し、學校評議員會を開催、特別新記金「咸奥」明太肝山織省の貴施に對「刺煙長及影形度に一代方を決定し、學校評議員會を開催、特別新記金「咸奥」明太肝山織省の貴施に對

動を起すことを即合せた

利英氏は生る一日的で諸路本仙

大任果して本社へ

に任官令日に及んだ人、事以屬託となり間年十二卒業、間九年十一月吉林

同の更速を女士模様である。 一面設すべき時期をなつた のでは、できばいた、では、 のでは、できばいた。 のでは、できばいた。 のでは、できばいた。 のできばいた。 のできがいた。 のできがい。 のできがいた。 のできがい。 のできがい。 のできがい。 のできが、 のできが、 のできが、 のでをできが、 のでをできが、 のでをできが、 のでをできが、 のでをでをできがでをでをでをでをでをでをで 帯郭、後任として北鮮鐵道ヲ理

關屋敏子煡

城津で大盛況

【 、 】まだ冬間れの北郎に潜す ・花に触けて吹いた



誰に罪を困った(寫眞は其間集) 魅力たつよりな鯉のコロラチュラ 押訴せた職業は割ち超前銭となり 開催した、午後六時花火を合圖に 記讃を浴びて同九時十分、

窓別は去る一日から延吉に移納券[延]の 一部の一日から延吉に移納券

● 経済 (本) 本 経済 (本) 本 経田 (本) は (

苗圃を作り 集團部落民指

間島省公署の試み

にでも一層に質励する語と、相当多いのでこれ等を一撮すべくめてある、なは質目は室下名標下、相当多いのでこれ等を一撮すべく

大阪神を開始した

成興と興南

も盛會

▲臨市面四月七、八日 ▲月旅館 十二、十二日 ▲ 班平面七、八日 《景/昭元、九日 ▲ 蘇里面八、 九日 ▲ 蘇/昭元、九日 ▲ 蘇/田 河面七、八日 ▲ 交河面六、七、 一十一、十二日 — 田 十一、十二日 — 田 十一、十二日 興電気徳殿、咸興は五日夜紫醤畑 干に近い入場者あり盛館であつた。他したが、興宿は干六白、咸興も一般したが、興宿は干六白、咸興も一般の一次開意に満って留かい。 【咸異】劉昼敬子顧を迎へて興南 引型光心婦人僧の主催で四日

日本軍隊並に各陸側の翻行線と 個報助の職に外ならぬ、新生他 のペルビンは人口七十萬を継子 る線調二大都市の一つであり今 医の役員も自身会にとつては軍過 ぎゃくと思つてるる ▲圧阿忠氏(會與新寺)四日顯宿(日原城へ

野が科技が来低することになった。 ぎゃと思つてある 精神にといいが過去ニアの間間 一般の系受けるよく今回の間間 に含方面から借しまれたの過去 一般の系受けるよく今回の間間 に含方面から借しまれたのが過去ニアの間間 に含方面から借しまれたのではまで 一般の系受けるよく今回の間間 に含方面から借しまれたのを に変してもなりませる手腕となる に対してもなりませる手腕となる に対してもなりませる手腕となる に対してもなりませる手腕となる に対してもなりませる手腕となる に対してもなりませる手腕となる に対してもなりませる子 に対していりで、 に変してはいりで、 にで、 に変してはいりで、 に変してはいりで、 に変してはいりで、 に変してはいりで、 にないで、 に変してはいりで、 に変してはいりで、 にないで、 に変してはいりで、 にないで、 にない ▲下田宏行中尉の後住として七日記三



鎭南 illi 埠頭所見

風と湿霧の壁止を目配として制合の訳歌で、海南客の跳地に對する 附近から極速に重ね相當問題與が 目論まれ五ヶ年の繼續實施で完整

H

昨年度の輸送七億三千萬噸

海浬數七十三萬三千浬!

學務取締役

森重喜作

役

貝

が、翌四年には青森宝廟線、伏木四線に及び壮に前く聞く北日本の

嶋谷武次

嶋谷、北日本兩汽船の現況

の歴史的轉換をなさしめる一楔期であった、今以外に解析を中心として西部 どその半圓型上ある事を遊苑するだらう。即ちこの事は、從來集皇以北の地方から從山、又は大連軍田 る八九五軒の半座を以て圏の描けば、再森、造山、新海、伏木、ツ智、舞磬、下陽、門司等の記述は、 は日隣連絡の交通體系に「大革命をもたらし、新溝州國の出現、東部鐵道の完成、羅津築港の整備 航

北日本汽船のほこり

【上】嘉義丸に【下】さいべりや丸

を観る

内地三結ぶ神だけでも天の三航路 敦賀北鮮線

の所。吉齊殿(鬼京闘殿)全通の本気路は昭和二年一月同戦が當時 期待を加上に表明して率先開始し - もので質に日本海横殿直航連絡

提供太方面の所路を除さ、朝鮮と 、羅典の主要肌路および北海。が、共の努力を質問の認める所も

鮮航路

髪として卸しく、そして力量く其 凝して他秀豪華船で、日本海の双 求に順すべく客船としての施設を

の重大使命選成にベストを雇して

割引規定

割引規則

旅客運賃

を使用し、銃月三回定期に運転し 北縣線と交互 南語経進電局と解定し、日間型高一二雙重し、日曜盟

海の浮城として 和も日本海の つ さいべりで起及 一回定期運航し

かぬ快スピード

里に権太西海岸各地を頭で辿く思日本権各地及び小権街とを約び、

世の氏北韓廷田本城で曜な城、秋田縣、京山府、社の氏北韓廷田本城で曜な城、秋田縣、京山府・ 別せしめ乳質― 施児雄気を起點とし、溶脈各地と単連路線として (舞鶴町の総合航路で、北鮮景脈の 献より継承して 雄基悪須取線

朝前兵時代の聖。通し扱ひも開散戦して居る カル快スピード 地より 崩洲國主要聯に到る危物の は福州國、北班と北海道、職太と須良に至る新加路である、本航路 を結合本形唯一の定規則路で、各

さいべりや丸三撃宝

の主要航路はじ

「日本及毎別市官公里は冬春に 一等文は特等に限り五割引とす 、貴葉術院議員及洞院語等官は 等二間引とす

個人割引率

往復切符は往復連貨の一割引

0) 水心地

大、現役陸海岸よ人、道脇東入退大、現役陸海岸よ人、道路各共の家族及人が経行の交種選予党前領域にして本人の交種選予党前領域にして本人と対した。

北日本所有

三等室でも明く廣く氣持よい 一設備さへ整く

壁海軍慶兵及何添人(一名)

を300 とした。 答記のような には、 ないのでは、 ないのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 ないのでし、 名質は、 歌は三葉客は、 はいのでは、 では、 ないのでは、 では、 ないのでは、 では、 ないのでは、 では、 ないのでは、 ないのでは、

設しといるが別的時機に原質して 路する航路の利用を繋げなければ 銀道の終鳴編建及び清津南西に世

就航船

もあるから船内から自由に運信が

でおいて、昨年六 が配けられる(密養切りをうる快速船で、昨年六 が配けられる(密養切りをうる快速船で、昨年六 が配けられる(密養切りをうる快速船で、昨年六 が配けられる(密養切りをうる)

鎮南浦間 て廉 を航

味をその

おのよい設備が施されてある。 て船部は明るく、個く、實に流

完成のするはずである、貨物用冷

常年月は犠牲を振らうと見られる 航行船としては本船がはじめて相 裁当法官は行卵製日本北海道方面

が出来るわけである(態質は肌内

旅行プランの作成も取しますから

は四分の一、十二歳未前半額、十小別施録・四歳未前二名無額、他

一、普通團體制引 團體割引率

の翻旅行に特に御相談に感じ交通。ます。 御押込みを翻願ひ致します、阿體(「歐亜連絡のみ)等にて秘収率し

ビューローにて総党或します。 一 主風解及ジヤパン・ツーリスト・代理底、ジャパン・ツーリスト・ | 行が出來ます切符は各脏路該當各 一等は成るべく数目制から船等のビューロー又はトーマスクラク、

切行は 繁心 出張所 | 預ケ原等の手数も省け手軽に御底

來船のご注意

日本汽船から

期より鮮海丸と

裏日本の断魚単新鮮なる艦輪送が

出版所、代理匠等へ一腕動地合せ、は省時式します。切容御際人の融にでありますが、天候等支認のあ、し、個人動引覚症の如さは軍人、腱でありますが、天候等支認のあ、し、個人動引覚症の如さは軍人、腱でありますからこうに一 不過します。各職路に使つて相違出戦日時 「客鮨の出戦は極めて正」があります。各職路に使つて相違出戦であります。各職路に使つて相違

特別團體割引

汽車・汽動画し切 無線電信 各船共無線電信局が設

はお葬ね下さい

になれば飛蝗率 何の不自由もなく壁上との御交話あります。一度 けてありますから、航海中と襲も

手荷物の が出来ます

刺上り一時間即から翻派込飾ひま」連貫御引地定 連貫割引地定は個派込 網報船の方は通常出戦の定 一歳以上は大人職。

一般以上は大人戦

北海道北鮮線旅客運賃表(嶋谷)

くなった 満 鮮 日 路航期 左宮圣船汽谷峰

有船調 大正共年曾

東 京より大 吸より

つた距離は(粁)

日福交通路三配線により新京に至る日本三大都市よりはか

現在所有船

はすべて船客本位の態暑に適する 丸は何れも慶新式俗秀船で、客家 し、殊に三等紀は船の中央部にあやう夫々通風旅光的開設網を完備

旦費を用ひて嶋谷が日本海丸に設備

0

「麒總督府の命令航路となり同 れ、十五年には更に大連必姓 れたのが大正十三年、常時大 二年九月定期和語とし敦煌北鮮航定即的に配船されてゐたのを昭和十數年前から北畔と翌日本間に不 北海道北鮮線

成为、翌月丸の二後が戦制した、 れが十四年釜山港から仁川

大連航路 連航路 道

にる極可を置い日前層

敦賀、伏木、船川 浦垣、境、宮津、

伏木根室線|

小権、函館、伏一海道館の希令が路として指定せら

館、青春三市秋田縣、山杉縣の命。 書は増加しつよある現在小橋、西 れてゐる凱海度歌は一ヶ年七十二 小樽哨內北見線 森、釧岭、原岸、霜乞布、坦山麓内、新潟、土崎、南館、

-EE

濁。律

津基基 津 津湯 着 假着 着 被者 硬着 最着 體 競 毎月 二日 廿 毎月 九日 十

九五 五五 五五 三日日日日日日 世紀 二〇〇人以上

小學校、智通學校及學家多の小學校、智通學校及學家多の學生不包括上一等文化重率に從为特正公女技主小兒運長の一個五分五〇人以上小兒運長の一個五分五〇人以上小兒運長の一個五分 二、兒童團體割引

四四三三 割五分割五分割

一般投資事組練所生徒、學生以及資本組練所生徒、學生以及資本組練所生徒、學生以表述大の版紀にして大会の出生就過失の版紀にして大会の出生。 西山原谷二十人以上の開館にし、 三等文は特・車等に殴り左の通 り開別す コロ人以上 ニ 智 三の人以上 ニ 智 三の人以上 ニ 智 住の順路に依る往路に取り左記 とす(本述)出版所後) しては各所解題解若は市町市 長の間引題指する者に對し移 長の間引題指する者に對し移 は総て潜通運貨の二割引とす 家 具 案具及農具の類割引とす 三割五分割

と叫んで勇猛躍り込む

章記勞功察證 勲殊る語物が

平北熙川警察署の岡村常吉警部

れた副總督故郷勝丁能の理能式

粉で圧機が場師が参加芸術を吹

寸二年十一月廿六日、昭和一年に任じられたのが明治

はで校學等初立公内所規定「生年」はラクボらからけ」もてご師が領

間の練性が極度に朝難してふる 祖派込の武山巡査部長と非巡点

が遺滅から羅難へ向つた際、列中

生 年

月ソ帰那類秋ゲベウに呼び出され

侵入 與關の清澈、咸豐等

宮の紫備取締状況その他の調査を「ビ戸」ため建造、羅律方面へ向ふ途中を宮の紫備取締状況その他の調査を「ため建造、羅律方面へ向ふ途中を

清津から羅津へ向ふ途中を

お手柄の移動警察班

朝鮮代表の **拳闘選手着京**



東京電話】オリンピック架闘隊 狭勝に出場の朝鮮代表選手一行

一間の我別能

理中が、御自慢の長常を腸々と微

井醫院

で本五二四四神 佐屋三倉国院 (本本五二四四神 佐屋三倉国院 大田 中) 投稿者書に高小字確 「東京県田山三山市 ウラタ時計店」 「京城明治川三山市 ウラタ時計店」

克里斯斯斯斯克克 的原活科新說 沏- 俄護燈炎)

からやつと解放されたお年許り

お髯自慢の

醫院

樹然人氣を奪る

節から

數學 电影山影游器 型设施南丘山大日本委由曾山岛游路省山山大山 を兼ね事務打合せの鳥め、六日東

磯野長藏氏

隊前少尉さんの馬に足職にされ

既職、五日京城西大門署削で装

お婆さん死わ

日間ニ異語申出

※ 京日案内

大度し 知識方小人徹洋込み

你本一六七七番

高速株式簡単

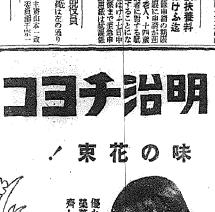
城府が主催する

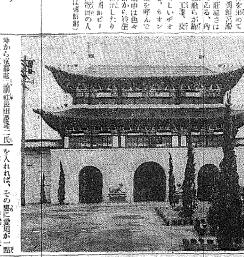
孝昌園で植樹デー

ふきも職はず銃を杖に再び起たう と試みるではないか、そしてなほ 外る十二日は

した、念報に疑し通い駐屯の職田へ四、行方不明三十八名を出し会蔵

一同全國巡数一分から甲子師琉場で天知





夫妻の鰓節で飯田窩大神宮に於い 夫妻の鰓節で飯田窩大神宮に於い]

快電概を揚げ順る艦僧であつ中が馳巻じ、長髯をしこきな

萬病を治す

投舞を特型の後に納めて配給して

おめてた

洲國軍〇〇名は戦と題下で配版を大六日喧迎」五日午前七時頃 満洲國軍全滅す

〇組及び河洲國軍が出版、 盟 連 連 連

中等野球選拔戰 終幕

脚者を住した 新任步兵第七十八聯隊長南監視 南雲聯隊長着任

控除申請はけふ迄戸別稅家族扶養料

齊しく愛好の食品 榮養を持つ近代人

社會式採集製治明 橋京•京東



特别等风 女店員

部(法、商、政) 監論 四月九日、十一日

6

入用年齢十六歳より十八歳ら高小 左楽程度顧贈書持寒午後二時より お歌程度顧問書持寒午後二時より おいる。

明治製菓賣店

共濟無法軍並一月二十五番地京城府水渠町並一月二十五番地

□○外務計員採用 のでは構進さら二十五葉之の内地 人質問業機関が用する当者は閲覧 と世帯本人来談ありたし 世し保証人を要す

心嘆願

銀

【二局】 闘は三八玉迄の高面

ますわ。 ちゃ・ちよつと… 「ええ、いろいると有解うこざ

ずみません。私わ、今駅な人に

併し、彼女の考へ及ぶところは

唯一つだつた。

日番組

| 注象品 (二) 湯次 で年前七時一分 (京) 明の修治

の概で生からかはいやのふイエイ

禁無斷上演映鑑

・ 保放音楽(東京) - 一般 (名) 短典物語 | 西欧古代 (東京) | 一般 (名) 短典物語 | 西欧田俊分 (帯放音楽 (東京) |

代理店 富田 阿雷

九州郵船株式會社

嶋谷汽船株式會計

不用出机 代理店 明 石 丸 四 日本海丸 四

班 为 但日午後十一周田夢 地 多 见 每月四日九日十四日 一九日十四日廿九日十四日 一九日十四日廿九日十四日 一九日十四日廿九日十四日 一十四日廿九日十四日 一十四日廿九日十四日 一十四日廿九日十四日 一十四日廿九日十四日 一十四日十四日 一十四日十四日

(毎日午後十一時出机

太田在で図者をしてゐる叔父の世 話になつてゐたところ・叔父か

野鼠口

大阪岡船様式資配(川代理店株式會配)(一一香(南出) 七二香(南出) 七二香(南出) 七二香(南出) 七二香(南出) 1一七八番(富山)

イリス高會 東京市赤阪區溜池町一五東京市赤阪區溜池町一五 豪 北 大 連 奉 天福 岡 靜 岡 京 國 京 神 戸 名古屋 ステーション エーション コ 部 職権等系プレーキ 其他 器・ゲリースポンア・電気工具・及 フラグ、マグスト・フラグ、モ油・ボリースル・注油・フラグ、マグスト・フタ 1 『手板質店柳生商店 與痛性苦痛性 井田京祭 ÿ.

のむなり

仁川出物

火堆 胸腺

清く美しく 香はしくあれ

すらはねにゃく ごずらかひにザキ /さよのピノ の香 のち落ノさ **3** 1

簡単に称められなくなると、経ば

署美は、心空絶気の叫ひをあげ、抵角の幸福が、

根底からがら!」と打版一るので月三十個しか扱けない。三

げ出してゐる。神戸の探摩像地版 つた。野上の言ふ辿り、三千國を | 業銀介をれは夏女のために三千國を按 | て野上は一銭の企さへ無い勝ちだ | ス なつて稼いでも、飲料の交際もあ